

青嵐中ライブラリー 4月号

Seiran junior high school library

令和7年4月25（金）
西東京市立青嵐中学校
学校司書

入学・進級おめでとうございます！

皆さんの新しい一歩をお祝いします。青嵐中学校図書館は皆さんの学びを支えます。
よろしくお願いします。

今年度も学校司書は、2名が交代で図書室にいます。（月・水・金）

「調べ学習で本を探す」「わからないことを調べたい」…など図書の困り事があれば
相談して下さい。

図書委員会活動が始まっています。昼休み毎日開館中

1年生は図書室オリエンテーションが終わってから貸出します

《図書館利用案内》

開館日・時間 昼休み 毎日開館
放課後 月・水・金

☆水は放課後は出来ない日が多いです。

詳細は図書館カレンダー（入口掲示板）を見て下さい。

貸出冊数 1人 3冊 期限は 2週間

4月 青嵐中図書館カレンダー 卯月 April

月	火	水	木	金	土	日
	1	2★	3わくわく	4★	5	6
7★	8	9★	10	11★	12	13
14★	15	16★	17	18★ わくわく	19	20
21★	22	23★ わくわく	24	25★	26	27
28 振替休日	29 昭和の日	30★ 委員会	5/1	5/2★	5/3	5/4

★は学校司書がいます。

4月の人

ハンス・クリスチャン・アンデルセン 1805. 4. 2～1875 没
デンマーク生まれ。詩人で童話作家。今年は没後150年です。
『即興詩人』で認められ『人魚姫』『マッチ売りの少女』『みにくいあひろの子』など、貧し人弱い人に味方する温かい作品が多い。160以上の作品を残しました。

●『蜘蛛の糸・杜子春』 芥川龍之介/著



蜘蛛の糸は4ページの短編です。「或る日の事でございます。お釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶら御歩きになっ
ていらっ
しゃいました。」で始まる美しい文章です。声に出して読んで楽し
みましょう。「杜子春」は金持ちの息子でした。全財産を使って貧
乏になった若者が、最後に人間らしい正直な暮らしをする話。

●『ともだち』 谷川俊太郎 /著 和田誠/絵



谷川俊太郎の詩の絵本です。クラスも変わり新しい出会いも
ありましたね。ひとりぼっちではさびしいです。ともだちと
は「かぜでもへいきだっていってくれるひと」どんな人でし
ょうか? 「ぼくがおわるまで最後までまってくれるひと」
「ぼくをしんじてくれるひと」あなたのともだちは?

●『さがしもの』 角田光代/著



「さがしもの」はもうすぐ亡くなる祖母から本探しを頼まれた
中二の孫の羊子の話。本を探しても見つからない内に、祖母も
亡くなってしまう。しかし大学卒業後に書店員となり、やっと
見つけた本に、祖母の若い頃の一瞬が描かれていたことを知る
そのほか、「旅する本」など9つの短編集。

●『さくら坂』 千葉朋代/著



高校2年のの実結は、夏休みも放送コンテストの特訓で頑張っ
ていた。ところが自転車で転び大けがを負い、救急車で病院に運ば
れる。下肢切断の手術が必要と医師に、告げられ現実には苦悩する
実結だったが、手術を決意する。自慢だった右足と最後の別れに
ペディキュアをして見送る。実結の再生の物語。